

## (案)

# 基本方針2 豊かな心、温かな人間関係を育む教育の推進

### (1) 子どもの健全な育成の推進

子どもたちが生涯にわたって、他者や社会などと関わりながらよりよく生きていく上で、自らを律する心や、互いを思いやる心、人間関係を築く力など、豊かな人間性や社会性を身に付けることはとても大切なことです。幼少の頃からこのような心の教育がなされないままだと、不満や怒り、悲しみ等といった自分の気持ちをうまくコントロールすることができずに思わぬトラブルを招く要因になるほか、いじめや非行に走ってしまうといったケースも考えられます。

中央区教育委員会では、豊かな心を育てる教育を通じて今後とも子どもたちの健全な育成を推進していきます。

#### ○ 現状と課題

近年では、インターネット環境の急速な発展にともない、SNS等によりいつでも気軽に友達などと連絡を取り合うことが可能となりました。これらのコミュニケーションツールは、知り合いだけでなく、国や性別、年齢を超えて見知らぬ人とも会話やコミュニケーションを楽しめるといった魅力的な面がある一方、犯罪や事件に巻きこまれる危険性があることも確かです。また、「相手の顔が見えない」ことや「自分を偽れる」ことから、他人を誹謗中傷する利用者が多いことも特徴の一つです。

このような情報化社会に生きる子どもたちは、これまで以上に他人を思いやる心をもつことや、多様な価値観を認め道徳的な課題を自分自身の問題と捉えて考えていくことが大切です。約10年ぶりに行われた学習指導要領の改訂では、「社会を構成する主体である一人ひとりが高い倫理観をもち、人間としての生き方や社会の在り方について多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え他者と対話し協働しながらよりよい方向を模索し続けるために必要な資質・能力を備えることが求められている」とし、道徳の教科化がなされました。

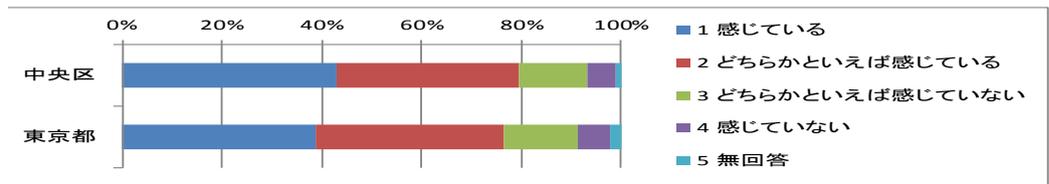
子どもたちが他者とよりよく関わるためには、まずは自分自身が大切な存在であると実感できるような自尊心を育成するとともに、他者も大切な存在であることを理解し、共感力を高め慈愛の精神を育むことが大切です。令和元(2019)年度に東京都が行った学力調査における意識調査では、「自分のことを大切な存在だと感じている」、「学校や生活の中で他の人から認められたり、ほめられたりしたことがあるか」という設問について、肯定的な回答が東京都の平均値と比べて高い傾向にあることが分かっています(図1)。その一方で、自己肯定感が低い児童・生徒も一定数見受けられることから、今後とも子どもたちの自尊心、自己肯定感などを高めていく教育活動を積極的に展開していく必要があります。

その他、子どもの健全な育成にあたっては、小学校施設を活用し地域の協力も得ながら、放課後や土日等に子どもが安心して過ごすことのできる居場所「プレディ」を設置しているところですが、人口増加や共働き世帯が増えている本区において、今後ますますその需要が高まっていくものと考えています。最近では、区内の人口増加に伴い「プレディ」の登録児童数および利用人数が増加し、その狭隘化が問題となっています(図2)。

子どもたちの健全な育成に向けて、学校と保護者、地域住民などが情報や課題を共有しながら、多様化する保育・教育ニーズに応えるとともに、信頼関係のもと協力して子どもを育む体制づくりの構築が必要です。

【小学校】 自分のことを大切な存在だと感じていますか。

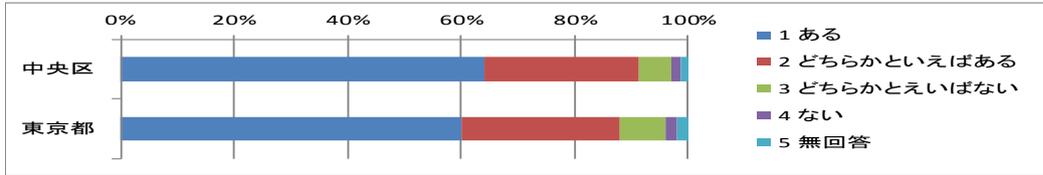
(図1)



(単位: %)

選択肢	1 感じている	2 どちらかといえば感じている	3 どちらかといえば感じていない	4 感じていない	5 無回答
中央区	43.1	36.4	13.8	5.6	1.1
東京都	39.0	37.4	15.1	6.4	2.1

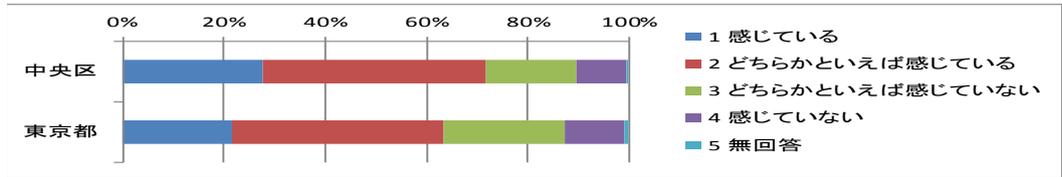
【小学校】 学校や生活の中で他の人から認められたり、ほめられたりしたことがありますか。



(単位: %)

選択肢	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	5 無回答
中央区	64.0	27.2	5.9	1.6	1.3
東京都	60.2	27.8	7.9	2.2	1.9

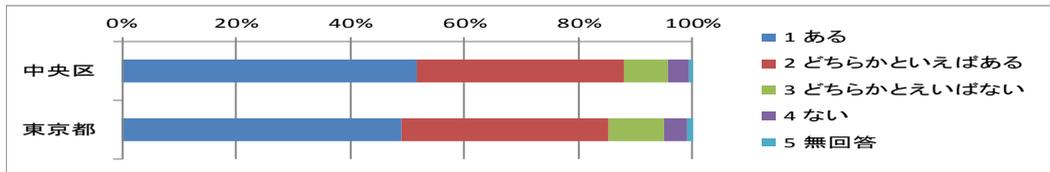
【中学校】 自分のことを大切な存在だと感じていますか。



(単位: %)

選択肢	1 感じている	2 どちらかといえば感じている	3 どちらかといえば感じていない	4 感じていない	5 無回答
中央区	27.6	44.0	18.0	9.9	0.5
東京都	21.5	41.9	23.8	11.8	1.0

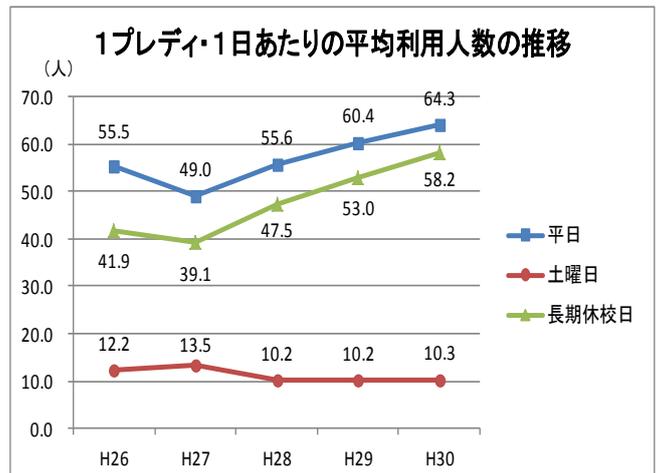
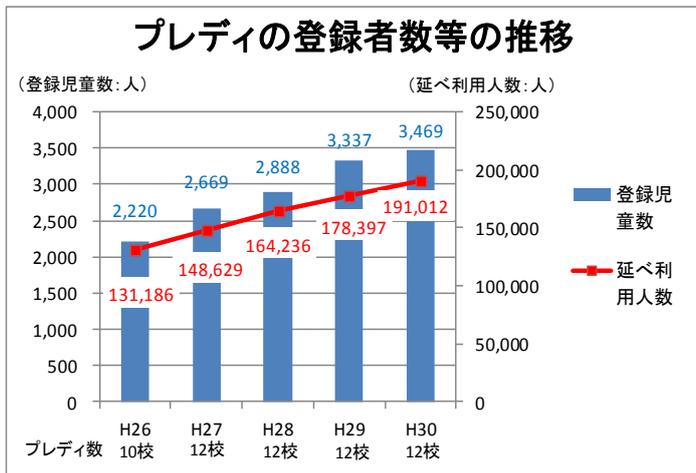
【中学校】 学校や生活の中で他の人から認められたり、ほめられたりしたことがありますか。



(単位: %)

選択肢	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	5 無回答
中央区	51.7	36.2	7.8	3.8	0.5
東京都	49.1	36.1	9.9	3.8	1.1

(図2)



## ○ 取組の方向性

### ① 心を育てる教育の推進

他者とよりよく関わるためには、自分を適切に、前向きに評価できることが必要であり、道徳科の時間等を通して、自分自身の内面を見つめ、自分のよさを導き、自分自身を考えることはとても重要なことです。すべての教育活動を通して、自分や他者を大切にすると人権尊重の理念や、社会のルールを守る規範意識の醸成について一層の充実を進めます。

### ② 豊かな人間性を育む体験活動の実施

体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されています。キャリア教育や自然体験、宿泊体験等の活動は、豊かな社会性を育むとともに望ましい勤労観を身に付けさせることができることから、子どもたちが新たな発見、気づきができる体験活動を今後も積極的に取り組んでいきます。

### ③ 子どもたちをとりまく環境改善に向けた取組

子どもが安心して日々を過ごすためには、自分が大切に思われているということ子どもに実感させるとともに、安心してすごせる居場所作りが必要です。そのためには、学校、家庭、地域が、ともに育てていくという姿勢をもち見守り、子どもの居場所「プレディ」等の子どもをとりまく環境の向上・改善、活動場所の確保等に向けた取組を行います。

## 【主な取組】

### ①-1 人権教育

「人権教育推進委員会」を設置し、毎年度研究テーマを定め、学校・幼稚園・地域の実態に即して人権教育推進上の課題を整理するとともに、人権教育の理念について十分な認識を有する教員の育成をはじめ、教育内容・方法の充実を図ります。各学校は、人権教育全体計画および年間指導計画を策定し、偏見や差別をなくし、人権尊重の精神を培い、子どもたちがお互いの多様性を認め合う教育を推進します。特に、いじめは人間の尊厳を傷つける重大な人権侵害であり、決して許されないと認識に立って行動できる力を身に付ける教育を推進します。

### ①-2 道徳教育

道徳科の授業を中心に教育活動全体を通して、道徳教育を推進するとともに、保護者や地域の方が参加して行われる「道徳授業地区公開講座」や深刻ないじめ問題等を解消するため、児童・生徒・保護者を対象に命の尊さや友情といった心に訴える「命と心の授業」を開催します。また、「特別の教科 道徳」の実施に伴い、発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人ひとりの児童・生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」への転換を図るため、道徳主任研修会の内容を深めるとともに、各校が指導内容や指導方法を研究することにより、さらなる道徳教育の推進を図ります。

### ②-1 キャリア教育

キャリア教育の意義と必要性を正しく認識するとともに、学校全体で取り組む推進体制を築くことができるよう、様々な職層研修において、子どもの実態や発達に応じた指導内容・方法について改善をしながら推進を図ります。

## ②-2 集団宿泊体験

豊かな自然を生かした体験活動や共同生活などを通じて、他者を思いやる豊かな心情を育むとともに、児童・生徒一人一人の主体的な学習を推進してきます。

実施学年	宿泊体験名
小学校4年生	セカンドスクール（柏学園）
小学校5年生	夏季臨海学校
小学校6年生	移動教室
中学校1年生	宿泊訓練
中学校2年生	移動教室
中学校3年生	修学旅行

## ③-1 子どもの居場所「プレディ」

放課後等における子ども達の安全で安心な居場所の確保と健全育成を図るため、活動場所の拡充について多角的に検討を進めるとともに、サポーターやボランティアとの連携を深め、学習支援をはじめ将棋や囲碁などの文化活動のほか、スポーツ活動などについても充実を図ります。

## ③-2 家庭教育力の向上

家庭教育の推進や親力の強化を図るため、区、学校関係者、PTA、民生・児童委員、青少年委員など地域の家庭教育関係者で構成する「中央区地域家庭教育推進協議会」を設置し、学校やPTA、地域の子育て支援団体と連携し家庭教育学習会など家庭教育を学ぶ機会を提供しています。

## ③-3 地域人材や学習資源の活用

地域の教育力を学校の教育活動などに積極的に活用し、学校支援体制を強化するため、各方面で活躍されている人材が講師となり、地域の文化・歴史・風土等を学べる機会などを積極的に設けます。また、学習活動や部活動、環境美化などに協力していただける地域の方を登録した「教育地域人材バンク」の活用をはじめ、地域内外の方から学ぶ機会も充実します。